

挨拶

皆さま、おはようございます。

私は、2020 年春、古河教会の牧師に就任致しました小池宏明と申します。古河教会で 4 年目になります。常磐宣教区の講壇交換礼拝での奉仕は、昨年が続いて二回目になります。コロナウイルスの感染拡大のために、中止していたからです。この土浦めぐみ教会での礼拝説教の奉仕は初めてです。

まずは、この度の床上浸水の被害、心からお見舞い申し上げます。実は、古河教会の会堂が建っている場所も市街化調整区域で、下水道が通っていません。渡良瀬川の堤防がよく見えます。浄化槽を使っていますので、ここと似たような環境で、他人ごとではありません。まだまだ、修繕工事、備品の購入など続くと思います。引き続きお祈り致します。

さて、私は神学校を 34 歳で卒業して、千葉県の新船橋キリスト教会で 10 年、その後、出身教会の新潟にある新津福音キリスト教会で 11 年奉仕させていただき、古河教会に迎えて頂きました。妻と二人暮らしで、地方の大学に通いながら、信仰(教会)生活をしている子どもが二人おります。

今朝は、初めてお会いする方も多いと思いますので、私自身の体験を交えて、聖書の御ことばに聴きたいと思います。そして、こんな者をも、主は救い出して、用いて下さる、主の御名を賛美したいと願います。最初に、お祈り致します。

はじめの祈り

「86:8 主よ、神々のうちであなたに並ぶ者はなく、あなたのみわざに比べられるものはありません。・・・86:10 まことにあなたは、大いなる方、奇しいみわざを行われる方。あなただけが神です。」(詩篇)

天の父なる神様。あなた様のお名前が聖なるものとされますように。

今朝、土浦めぐみ教会の、愛するお一人お一人と共に、主の日の礼拝をお捧げできます幸いをありがとうございます。私自身の体験を通して、救い主イエス・キリストが崇められるように、と願っております。

主よ。あなた様が、この地に、キリストのからだなる教会を立ててくださり、この地の宣教と教会形成の働きを担わせておられることを覚え、主の御名をあがめます。互いに主にある家族として、一致して、協力しながら、キリストのからだなる教会を立て挙げていくことができますように、お導き下さい。

今朝も、聖書のみことばに、耳を傾けます。あなた様が、御霊なる神様を豊かに送ってください。私たちの心に真理の光を灯してくださいますように、お願い致し

ます。

今も生きておられ、いつも共にいてくださる救い主イエス・キリストのお名前を通してお祈り致します。アーメン。

私の体験

私は、豪雪地帯、新潟県小千谷市の稲作兼業農家の長男として生まれ育ちました。小千谷と言えば、2004年に中越地震が起こったところで、私の実家も被災しました。雪は今でも2m位積もります。冬の間4ヶ月くらいは雪がある生活になります。空は毎日どんよりしています。皆さん、想像できるでしょうか？多くの雪国育ちの方は、厳しい環境のゆえに、寡黙で忍耐強い性格の人が多いかもかもしれませんね。私もそうかもしれません。

私が初めて聖書に出会ったのは、隣の長岡市にある本屋で19歳の学生の時でした。

その当時、私は、人間や、社会の醜さに失望して、嫌気がさしていました。特に、松本清張の社会派推理小説を愛読していた事も大きく影響していたと思います。彼の小説の中では、自らの地位や名誉を守るために、さまざまな犯罪を起していく人間の姿が、多くの取材により現実味を帯びて描かれていました。私自身が、小説の主人公ならば、同じような状況に立たされた場合、同じ罪を犯していただろう、と十分に予想出来るものでした。自分を守るためには、何でもしてしまう人間の弱さ、自己中心な心。まさしく自分自身の姿でした。

そんな19歳の春に、なぜか？聖書が読みたくなって、学校の帰りに本屋で口語訳の聖書を手に取り、少し立ち読みしてみたのです。しかし、単なる昔話のように思えて、よく分からなかったので買うのを止めてしまいました。ところが、皮肉なことに、その帰り道に、統一協会の街頭アンケートに捕まったのです。皆さんは統一協会をご存知でしょうか？今は、名前を「世界平和統一家庭連合」と変えて活動しているキリスト教系の異端（カルト）です。昔から、花売り、珍味売り、靴下やハンカチ売り、手相見て印鑑売り、靈感商法、多くの方が被害に遭ったり、被害を見たり、聞いたり、したことがあると思います。1990年代初めには有名人、スポーツ選手、の合同結婚式報道がなされたことを覚えている方もいるかもしれません。

私に声をかけて来た人は、もちろん、統一協会の名前は出さずに、青年のサークルのような雰囲気、聖書の事を学んでいる、と言っていました。私は、ちょうどよい機会だと思って入会して、聖書の教えだと思い込んで、彼らの教えを学び始めたのです。そこに居る人たちは、みんな、いわゆる良い人でした。

何でも吸収してしまう若さと聖書に対する好奇心もあって、のめり込んでいきました。いわゆるマインドコントロールを受けていたわけです。（例えば情報コントロ

ールは、戦争の時によく起きますね。) ついに、学校を卒業すると同時に、統一協会の活動に専従するようになりました。その後、十年近くも統一協会でも活動をしてきたのです。その中には不法な活動も含まれていましたし、何よりも多くの青年たちに、間違った聖書の教えを教育して、彼らの人生を狂わせてしまったのです。私の出身(母)教会の新津福音キリスト教会の松永牧師は、そういう統一協会に入る信者たちを救出し、正しい聖書を教える働きをしていました。そこへ、何年にも渡り、相談に行っていた私の両親や親戚の方々の協力によって、統一協会の教えについて、検討し直す機会が与えられたのです。その時に、もう一度聖書をじっくりと読み直すことが出来ました。その中で、次のような聖句が示されました。先ほど朗読して頂きました。ヨブは突然、とても大きな苦難に襲われました。なぜ、大きな苦しみに遭うのか? 自分はずっと正しく生きて来たのに、と苦しみます。すると、ヨブの友人が、しびれを切らせたかのように、畳みかける場面です。

「11:7 **あなたは神の深さを見極められるだろうか。全能者の極みを見出せるだろうか。11:8 それは天よりも高い。あなたに何が出来るだろう。それはよみよりも深い。あなたが何を知り得るだろう。11:9 それを測ると、地よりも長く、海よりも広い。**」(ヨブ記 11 章 7～9 節)

私は、この箇所を読んだときに、大きなショックを受けて、血の気が引くのを感じました。背筋がゾッとしました。一晩中眠れずに、もがき苦しんでしまいました。

なぜなら、統一協会では「人間は、神の性質を知る事が出来て、神性を持つことが出来て、悲しみの神を解放し、慰めなければならない」と教えていたからです。それは、人が「神」になろうとする恐ろしい教えだったのです。そのような教えのゆえに、神を畏れずに、何でも教祖の好き勝手に、不法な活動もできるようになる、ということに気付いたのです。(気付いてしまったのです) 私は、本当の神様を知らなかったのです。人間が勝手に作った神様を信じ込まされていたのです。

私は、自分の過ちを認めざるを得ませんでした。このことがきっかけで、私は聖書を貪るように読み続けました。そして、自分自身の根本的な罪を自覚するようになったのです。それは、傲慢の罪です。私は、自分の実力や努力に信頼して生きる習慣が、自分も知らないうちに身に付いていたのです。その事が、傲慢さを助長させ、人を見下し、傷付け、神を冒瀆する教えに騙される結果になったことを自覚するようになりました。

私は罪の自覚とともに、主なる神様の激しい怒りと裁きを受けなければならない自分である事にも気づきました。罪悪感に苦しむ私は、主なる神様の救いと恵みを受け続けていく人生へと、新しい出発を迫られていきました。

エペソ人への手紙 2 章 8～9 節「2:8 **この恵みのゆえに、あなたがたは信仰によって救われたのです。それはあなたがたから出たことではなく、神の賜物です。2:9 行**

いによるものではありません。だれも誇るものがないためです。」自分を誇る人生から、主に所有され、主を誇る人生へと、方向転換をしていく事を決意し、信仰を明らかにして、洗礼を受けました。

その時、不思議な事に、涙が溢れ出て止まりませんでした。罪悪感に苦しむ心に、喜びと平安の光が差し込んできました。

その後、誤って聖書を教えてきた人生から、今度は正しく聖書の御ことばを伝える者になりたい、との思いが与えられて、神学校へと導かれ、牧師への道が開かれて、今日に至っています。

ここに集っておられるみなさんも、それぞれ洗礼を受けた時の証詞があるでしょう。ぜひ、その時のことを思い起こしてほしいのです。そして、感謝をささげることができたら素晴らしいことです。まだ、信仰の告白に至っておられない方もいると思いますが、私のような壮絶な経験が無ければならない、ということではありません。人それぞれ、主なる神様の導きが違います。ただお願いしたいのは、よく聖書を読んで頂きたい、ということと、何があっても教会に繋がっていて欲しいのです。主が素晴らしい人生を約束しておられるからです。

さて、このような体験を振り返りながら、改めて教えられたことを、分かち合っておきたいと思うのです。

私の体験から教えられること

- ① 神は、すべての人が救われて、真理を知るようになるのを望んでおられる、とうことです。(第一テモテ2：4)

私たちが自覚しようがしまいが、主なる神様は、私たち人間を創り、私たちの人生を治めておられるのです。そうであるならば、真の主なる神様の許に立ち返らせるために、私たちを試練に遭わせ、あるいは、私たちを間違った道にさえ導き、回心させるというご計画を立てておられる、ということです。ですから、試練や苦難、誘惑が、悪いことではないのです。

むしろ、苦難のときに、自分を偽って、真摯に自分に向き合わないことこそ問題なのです。詩篇 119 篇 71 節「**苦しみにあったことは私にとって幸せでした。それにより私はあなたのおきてを学びました。**」詩人が詠っているとおりです。

私たちは、体験的に知っています。自分の力ではどうすることもできないことが起きることを。私の場合は、正しいことをしていると思い込んでいましたが、悪用されたのです。自分で一生懸命頑張って、立て上げようとして来た人生が、否定されることがあるのです。大規模な自然災害で家族や住まいを失うことだってあります。祈らざるを得ないことが起こるのです。そんなとき、主なる神様に立ち返るときではないでしょうか。主の導きがそこにあるのです。

- ② 究極の誘惑は、「あなたがたが神のようになって、善悪を知る者になる」

(創世記3章5節) ということです。

私たちは、いつの間にか、自分の意志(力)で、主なる神様を動かそう、とする罪があるのです。アダムとエバが、蛇から誘惑を受けたときのことばが「あなたは神のようになれる」というものです。そして、この神のようになろうとする傲慢さこそ、諸悪の根源なのです。

皆さんどうでしょうか。

現代人の私たちは、自律(自立)することが求められています。それは、私たちを本質的に創られた主なる神様を無視することでしょうか？

神様を無視して、神様に頼らない、主なる神様に祈り求めない、とするならば、まさに自分が神になることです。いつも蛇の誘惑を受けているのです。(主と共に歩むことこそ真の自立です)

私たちは、人を動かすために、自分の益のために、神様(御ことば)を利用していないでしょうか？ 牧師が一番この誘惑に陥りやすいのです。牧師と信徒と、互いに注意し合うことが必要なのです。

③本物の救いは「恵みのゆえに信仰によって」、「神からの賜物」として与えられるのです。(エペソ2章8節)

私たちは、神からの恵み、賜物(プレゼント)が与えられているのです。それを人間である(人間でしかない)私が拒否したら、失礼ではありませんか。それこそ傲慢です。

「ただより高いものは無い！」と疑う気持ちも分かります。しかし、考えてみて下さい。

本当に高価なものは、買うことはできないのです。(水、空気)ただで受け取るし
かないのです。

私たちが、何か良い行いをしたから、金を積んだから、手に入るような救いは、まやかしです。偽物です。主イエス様が、私たちに与えようとしている救いは、そんな安っぽい救いではないのです。自分の力や能力、努力で得られる「救い」ではないのです。

主なる神様が、私たちに、手をさし伸ばしてくださったのです。神であられるお方が、人となって、この世界に、来て下さったのです。それが、神のひとり子イエス・キリストです。

なぜですか？ なぜ神であられるお方が、そのあり方を捨てて、不自由な人間になって、来て下さったのですか？なぜ、イエス様は十字架の道を避けることなく、むしろ選んで歩まれたのでしょうか？それは、皆さん一人ひとりを愛しているからです。愛するとは、犠牲を払うことです。

ヨハネ「3:16 神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに世を愛された。

それは御子を信じる者が、一人として滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。3:17 神が御子を世に遣わされたのは、世をさばくためではなく、御子によって世が救われるためである。 3:18 御子を信じる者はさばかれない。信じない者はすでにさばかっている。神のひとり子の名を信じなかったからである。」

皆さん、心から、主イエス・キリストを信じて、さばきに遭うことのない人生を歩んでおられますか？「永遠のいのち」にいたる道を歩んでおられますか？

もし、この中で、まだ、主イエス様を自分の救い主として信じておられないという方がおられますなら、地よりも長く、海よりも広い、神の深さ、全能者の極み、イエス・キリストのご愛に触れて頂きたいと思います。主の愛は、神様の深さは、聖書の中に示されています。ぜひ、御ことばを聴き、神様からの招きを受けたならば、その時を逃さずに、「はい、信頼して受け入れます」と応答していただきたいのです。

また、既に、イエス様を救い主と信じておられる方も、日々の信仰生活の中で、さらに、豊かに神様の深さを味わって頂きたいと思います。私は20代のほとんどを間違った教え、異端に捕らえられた生活に費やしてしまいました。とんでもない回り道をしてしまった、無駄な日々を過ごしてしまった、と思った時もありましたが、今、振り返ってみるならば、神様の導きに少しも無駄や無意味なことはないと思うのです。土浦めぐみ教会の愛するお一人お一人が、永遠のいのちの約束をしっかりと握りながら、日々、主なる神様の素晴らしさを体験し、証ししていく歩みでありますように、お祈り致します。

応答の祈り

天の父よ。あなた様のお名前を心から信じて、感謝致します。

あなた様は、全知にして全能、正義と聖さに溢れる神であられるお方です。

それにも関わらず、この不自由で、醜い世界に、人の子として生まれて来て下さったことを、心から感謝して、受け入れさせてください。

主イエス様は、この世を救うために来て下さいました。まさに、ここに導かれているおひとりお一人は、さばかれないで、救い出されるために、特別に愛されている一人ひとりであります。

主よ。覚えて下さい。あなたが愛しておられるあなたの子どもたちを憐れんで下さい。

主の愛の深さに応答して、新しい出発をさせて下さい。

いつも共にいて下さる救い主、イエス・キリストのお名前を通してお祈り致します。アーメン

応答賛美：讚美歌 267「かみはわがやぐら」